

奮闘する教授会

－佐藤伊久男文書－

佐藤伊久男（さとう いくお 1930～2010）は西洋史、特に中世英国史の研究者で、『中世イングランドにおける諸社会の構造と展開』（2012年）などの著作があります。

彼は1955年に東北大学文学部を卒業後、国立国会図書館や流通経済大学の勤務を経て、1969年以降に東北大学文学部の教員（西洋史）を勤め（1975～94年は教授）、1994年の退職と共に名誉教授となりました。その後、東北学院大学教授も勤めています。



本文書の大半は、研究活動とはほぼ無関係で、文学部教授会関係資料から成ります。佐藤が教授会メンバーだった時代の文学部では、まず1960年前後からの学生運動の高揚が続く中で大学自治が問われ、講座制が問題になりました。同時期は、片平キャンパスから川内キャンパスへの移転計画に関わる問題も検討を重ねられました。その後も、教養部改編による分属の問題や、大学院重点化にともなう将来構想やカリキュラムの改編問題など、さまざまな問題に対処することが必要になりました。

本文書には当時の教授会関係者が作成した記録が多く含まれ、その中にはメモや下書きの類も混在しています。今からは想像もつかない多くの労力が、各種の問題に対処する中で費やされていたことを、実感できる資料群といえるでしょう。